

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
ビジネス	2 単位 理論経済	マクロ経済学Ⅱ	松田 慎一	2 年次	春

授業のキーワード	財市場と金融市場、財政政策と金融政策
授業の概要	マクロ経済学は、一国の経済全体がどのように活動しているのか、説明する学問です。財市場と金融市場、および財政政策と金融政策まで説明する予定です。マクロⅠを履修済みで、その知識を前提に授業を進めます。
期待される学習成果（目標）	1. マクロ経済学の考え方を理解できる。 2. 財市場や金融市場について説明できる。

## 授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	イントロダクション	授業概要の説明と、マクロ経済学とはどのような学問であるのかについて解説します。	第 9 講	貨幣の需要 (1)	貨幣が需要される動機について説明します。
第 2 講	マクロ経済学の復習	マクロ経済学基礎（マクロ経済学Ⅰ）で扱った内容の復習をします。	第 10 講	貨幣の需要 (2)	第9講の続きです。
第 3 講	有効需要と乗数定理 (1)	さまざまな乗数について解説をします。	第 11 講	貨幣市場の決定理論	マクロ経済分析を行うための基本的な概念である LM 曲線について説明します。
第 4 講	有効需要と乗数定理 (2)	さまざまな乗数について解説し、計算演習をします。	第 12 講	IS-LM 分析 (1)	マクロ経済学の均衡が、どのように決まるのかについて説明します。
第 5 講	投資の理論 (1)	投資とは何か、何が投資を決める要因であるのかについて説明をします。	第 13 講	IS-LM 分析 (2)	マクロ経済学の均衡が、どのように決まるのかについて説明します。
第 6 講	投資の理論 (2)	第5講の続きです。	第 14 講	財政政策と金融政策	政府の行う財政政策と金融政策が、マクロ経済に及ぼす効果について説明します。
第 7 講	財市場の決定理論 (1)	マクロ経済分析を行うための基本的な概念である IS 曲線について説明します。	第 15 講	まとめ	この授業で解説した内容の総括を行います。
第 8 講	財市場の決定理論 (2)	第7講の続きです。	定期試験		授業内容に基づいた記述式の筆記試験を行う予定です。
評価方法		授業貢献度と課題を40%、期末試験を60%として総合点数により評価します。			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
必要に応じて資料を配布する。			スティグリッツ/ウォルシュ『マクロ経済学』第3版 東洋経済新報社 マンキュー『マンキュー経済学Ⅱ マクロ編』第3版 東洋経済新報社 中谷巖『入門 マクロ経済学』第5版 日本評論社		